

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので、結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるプロロセントラム属が最大2細胞/ml確認されました。今後、細胞数の急激な増加によっては、飼育魚のへい死の可能性も考えられるため、海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

また、麻痺性貝毒原因プランクトンであるアレキサンドリウム属が最大2細胞/ml、ギムノディニウム カテナータムが最大2細胞/ml確認されました。

本日から明日にかけて宿毛湾内で大雨となる見込みです。それを受けて表層の水温、塩分が低下する可能性があります。飼育魚の状態には、十分注意してください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

※(本日の調査は、海水1mlのプランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	プロロセントラム属	ギムノディニウム カテナータム	アレキサンドリウム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(細胞/ ml)		
藻津①(別図⑨) 採水時間 09:53 透明度 - m	5.0	25.1	32.8	6.9	2	0	2
大島中央①(別図⑤) 採水時間 10:10 透明度 - m	3.0	25.2	32.5	6.4	0	0	0
小筑紫中央①(別図⑬) 採水時間 10:20 透明度 - m	0.0	25.3	31.5	6.5	0	2	0
栄喜奥(別図②) 採水時間 10:40 透明度 - m	5.0	25.2	32.5	6.8	0	0	0
青瀬山(別図③) 採水時間 10:47 透明度 - m	5.0	25.3	32.6	6.9	0	0	0
弘浦②(別図①) 採水時間 10:58 透明度 - m	10.0	24.5	33.2	6.0	0	0	0

「赤潮・貝毒プランクトンの調査について」は当所ホームページ内の

「宿毛湾赤潮情報」(URL : <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040406/akasio.html>)においてもご覧いただけます。